

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	聖マリアンナ医科大学						
教育プログラム・コース名	希少がん・小児がん医療者養成コース（大学院）						
対象者	大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	①希少がんの診療に必要な基礎知識を獲得した上で、全国的な診療ネットワークを有効利用し、さらに発展させることができる人材 ②小児がんの診療に必要な基礎知識を獲得した上で、全国的な診療ネットワークを有効利用し、さらに発展させることができる人材						
修了要件・履修方法	（大学院）下記の必修項目を含めて30単位以上を履修し、学位論文を提出の上、審査、最終試験に合格すること						
履修科目等	<必修科目> 臓器横断的な臨床腫瘍学総論を中心に、①では希少がん概論、②では小児科・小児外科学を加えた必修24単位 <選択科目> 臓器別がん治療、放射線治療学、緩和医療学から6単位以上						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	①希少がん：本学は、希少がん診療に従事する医療従事者の教育・育成を目的とした全国規模の研究会「RAINBOW: RAre cancers INitiative Bridging Oncologists' Wisdom」に世話人として参加している。このシステムを通して、より充実した全国規模の希少がんに対する教育システム、患者紹介システムを発展させていくことを予定している。本コース受講者は、このシステムに臨床腫瘍学講座員とともに参加し指導を受けることにより、効率的に希少がんの診療を理解、体験する。 ②小児がん：本学では、小児科、小児外科、がん診療を担当している関係講座が連携して小児がんの診療を行っている。また、小児がんに対する医師主導治療も実施している。本コース受講者は、実際の小児がんの診療を効率的に学習するだけでなく、アカデミア主導の新規治療開発に携わる。						
指導体制	①希少がんでは臨床腫瘍学講座、②小児がんでは小児科、小児外科を中心に、がん診療を担当している関係講座、遺伝外来担当者が連動して指導を行う。 また、①では上述した全国規模の研究会RAINBOWにおける教育システムも利用する。連携大学間の交換講義、ウェブレクチャーなども行う予定である。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	①希少がんでは、がん薬物療法専門医 ②小児がんでは、小児科・小児外科領域の専門医、がん薬物療法専門医						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院生	0	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8